

市民ひとりあたりの使いみち

目的別歳出決算を市民ひとりあたりで算出(注)したのが、右の表です。

主な内容は、つぎの通りです。

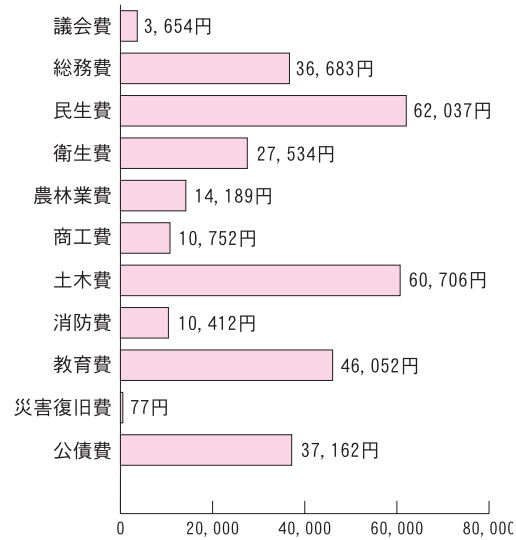
【民生費】 少子高齢化対策としての児童福祉サービス、高齢者生活支援サービスや身体障がい者サービスの充実に務めました。

【衛生費】 市民の健康保持・増進、疾病予防のための各種検診、健康教育などに務めました。また、環境保護のために、環境フェアなど啓発活動に務めました。

【土木費】 幹線道路の整備や宮浦自然公園の整備などに務めました。

【教育費】 古井小学校など施設整備のほか、生涯学習のための各種講座の開設や文化振興に務めました。

(注) 平成16年3月31日現在の市の人口52,073人で算出



特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険会計	38億1,673万円	34億1,062万円
介護保険会計	17億0,379万円	16億1,915万円
老人保健会計	38億1,913万円	38億1,377万円
公共下水道事業会計	39億1,449万円	37億6,460万円
特定環境下水道事業会計	4億5,713万円	3億9,425万円
農業集落事業会計	1億8,161万円	1億6,166万円
東海環状自動車道工事 残土処分事業会計	7億6,730万円	4億4,164万円
合計	146億6,018万円	136億0,569万円

水道事業会計

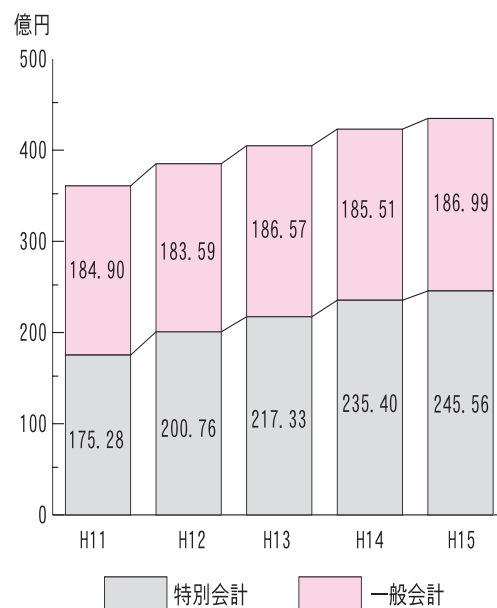
区分	歳入	歳出
収益的収支	12億1,966万円	10億3,588万円
資本的収支	2億4,884万円	19億9,100万円

特別会計(7会計)の決算額は、歳入が146億6,018万円で、前年度に比べ4億7,925万円(3.4%)の増加、歳出が136億568万円で前年度に比べ1億134万円(0.8%)の増加となり、特別会計の予算現額に占める決算額の比率は、歳入で101.8%、歳出で94.5%となりました。

水道事業会計(公営事業)は、事業収益に当たる「収益的収支」では、給水収益の増加や修繕費の減少により、増収となりました。

建設事業にあたる「資本的収支」は、下水道工事による上水道管布設替え工事など行いました。

地方債残高の推移



詳しくは、「平成15年度美濃加茂市歳入歳出決算実績報告書」をご覧ください。市役所玄関行政情報コーナ・行財政課、図書館にあります。



(注) 金額および比率については、端数処理してあります

施策3 「安心安全に暮らせる健康福祉・環境のまちづくり」



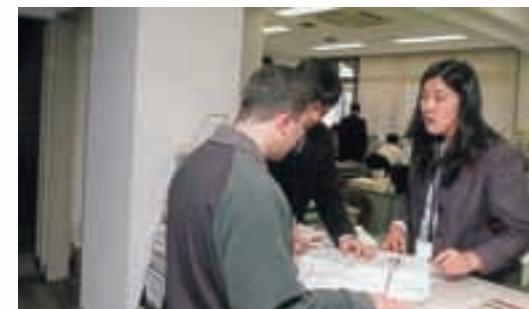
健康へのきっかけづくりとして禁煙教室事業など行い、乳幼児保育対策としてゼロ歳児受入事業を行いました。

施策4 「交流のさかんな産業経済のまちづくり」



観光面では道の駅「日本昭和村」に街かど情報掲示板整備・情報システム整備を行い地域の活性化を促しました。

施策5 「みんなでつくる市民参加のまちづくり」



定住外国人相談窓口の充実や男女共同参画意識啓発事業などを推進し、市民サービスの向上に努めました。

施策1 「住んで誇れる環境都市のまちづくり」



市街地の貴重な自然環境の保全を目的とした「宮浦池自然公園整備事業」や公共施設バリアフリー事業などを行いました。

施策2 「時代を拓く教育文化のまちづくり」



古井小校舎改築事業や未就学外国人児童生徒の就学促進のためのエスペランサ教室に日本語指導講師を配置しました。

予算は、第4次総合計画に基づき、編成し、計画的に執行しました。平成15年度取り組んだ主な事業を紹介します。

こんな事業に、取り組みました。

ザ・決算 2